

安定供給システム販売申請書

平成 年 月 日

東北森林管理局長殿
(経由)

住所
商号又は名称
代表者氏名 印
TEL
FAX
(担当者:)

住所
商号又は名称
代表者氏名 印
TEL
FAX
(担当者:)

注) 共同で買受けを希望する者については、それぞれ住所、商号又は名称及び代表者氏名を記載し、そのうち共同買受けの代表者については、商号の前に(代表者)と明記する。

平成 年 月 日付けの公告によるシステム販売に係る産物の買受けを要望するので、下記のとおり申請します。

記

1 森林管理署等別・買受希望数量及び買受希望時期

(1) 森林管理署等別・買受希望数量

単位: m³

樹種				計
森林管理署等				
計				

※公告の販売予定量を参考に希望する樹種別数量を記入して下さい。

(2) 買受希望時期 月 ~ 月

2 安定供給システム販売に係る事業計画

(1) 事業計画等の概要

ア 平成 年度製材品事業計画・・・・・・製材工場等の事項

① 平成 年度：原木消費計画 単位：m3

樹材種	四半期	第1	第2	第3	第4	計
		四半期	四半期	四半期	四半期	
計						

※原木消費量を四半期別に区分して下さい。

② 平成 年度：製材品加工計画 単位：m3

製材品内訳	四半期	第1	第2	第3	第4	計
		四半期	四半期	四半期	四半期	
計						

※上記の原木を製材品とした数量を記入して下さい。

③ 平成 年度：製材品出荷計画 単位：m3

製材品 内 訳	出荷先	前期か らの越	第1	第2	第3	第4	計
			四半期	四半期	四半期	四半期	

※上記の加工計画の出荷計画を記入して下さい。

(2) 事業計画等の取組状況説明及び企画提案内容

別紙の通り事業計画等の取組状況及び企画提案内容を添付します。(様式は任意)

(記載上の注意事項) 次の事項について具体的に記載して下さい。

なお、協定選定者審査時(評価)の資料とさせていただきます。

1 安定供給システム応募の主旨

- ・安定供給システムの目的に対する企業としての考え方、目的等
- ・来るべき国産材時代に向けた量的、質的な原木消費、製品供給の考え方
- ・山元還元を基調とした原木価格設定への考え方など

2 材の受入れに関する事項

- ・受入れ可能な材の内容(径級・長級範囲、曲がり(矢高)、節・腐れの程度)
- ・樹材種毎等の買入れ価格及び四半期毎の価格見直しの可否
- ・その他材の受入れに関して特筆すべき事項(使用する樹材種が異なる他の工場や原木市場等との共同買受けによって、一事業地から生産される材の一括引き受けが可能など)

3 需要開発、コストダウン等の取組に関する事項

- ・製品の新規需要の開発、高付加価値化等への取組
- ・製材等の歩留まり向上の取組
- ・新たな技術、加工機械の導入等による加工コスト削減の取組
- ・工場土場への自動選別機の設置等による物流コスト削減の取組
- ・その他特筆すべき取組事項

4 その他提案内容等

- ・上記取組における価格面やコスト面、木材需要等への協定によるメリット
- ・その他提案したい企画内容等

5 原木提案価格検討表(別紙のとおり)

3 事業内容（申請時前年度実績）

(1) 製材等実績・・・製材工場等の事項

ア 原木の入荷量、消費量（出荷量）、在荷量

区 分		数量（m ³ ）
年度当初在荷量		
当 年 度 入 荷 量	国 有 林 材	
	その他国産材	
	外 材	
	計	
当年度消費量 （当年度出荷量）		
年度末在荷量		

イ 主製材品等生産量、販売量、在荷量

区 分	製材品等名（ ）	製材品等名（ ）
	数量（m ³ ）	数量（m ³ ）
当初在荷量		
当年度生産量		
当年度販売量		
当年度企業内消費		
年度末在荷量		

注）製材品等で購入したものは（ ）外書きとする。

ウ 製材品等販売の種類別内訳量、主な出荷先及び売上高

種 類	数量 (m ³)	主な出荷先	売上高 (円)
計			

注) 他の業種へ販売した場合は、主な出荷先欄に業種を記載する。

- (2) 決算諸表 (貸借対照表, 損益計算書, 納税証明書)、社会保険の加入状況別紙のとおり添付します。

注) 共同で買受けを希望する方は、それぞれ提出して下さい。

- (3) 資格関係

ア 林産物売払い一般競争参加資格整理番号

イ J A S 認定設定番号

注) 共同で買受けを希望する方は、それぞれ該当のあるものについて記載して下さい。

4 その他

販売協定

別紙のとおり添付します。

注) 共同で買受けを希望する方は、乙の販売協定書を添付して下さい。

別紙

原木提案価格検討表

事業体名：

1 最終製品価格

税込み

製品規格	製品価格	単位	割合	備考
		円/m3		
		円/m3		
		円/m3		
		円/m3		
		円/m3		
		円/m3		
		円/m3		

※代表的な銘柄を記載する。

※製品価格は工場発税込み価格である。

※割合は製品の全出荷量に対する出荷割合である。単位は%。

2 製造コスト等

	コスト	単位	歩止	備考
平均製造コスト		円/m3		

※製品出荷待ちまでの平均トータルコストを記入する。

※歩止は原木に対する製品の平均歩止まりである。単位は%。

3 工場着受入原木価格

税込み

樹種	長級(m)	径級(cm)	受入価格	単位	備考
				円/m3	
				円/m3	
				円/m3	
				円/m3	
				円/m3	

※主要な樹材種毎に記入する。

※材質の規定があれば備考欄に記入する。

4 原木輸送コスト

税込み

署等	コスト	単位	備考
		円/m3	
		円/m3	
		円/m3	
		円/m3	
		円/m3	

※署等毎の山元から工場までの平均的な輸送費を記入する。

※備考に車両1台当たりの積載量を記載する。

5 山元価格

税込み

署等	樹種	長級(m)	径級(cm)	受入価格	単位	備考
					円/m3	
					円/m3	
					円/m3	
					円/m3	
					円/m3	
					円/m3	
					円/m3	
					円/m3	
					円/m3	
					円/m3	
					円/m3	
					円/m3	
					円/m3	
					円/m3	
					円/m3	
					円/m3	
					円/m3	
					円/m3	
					円/m3	

※署毎の樹材種別の山元価格（（3）工場着受入原木価格の樹材種に対応）を記入する。